

## 一級自動車工学科・自動車整備科 2025年度 授業計画

時期	2年C巡	単元	実習	教科名	2C_車体電装4	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	実習ノート	発行日	2026年4月1日	
			TS3級電装編			
総時限	23時限		クロームブック	教科 担当	吉田 宗司	
総時間	36.8時間				月井 悠介	
単位数	1					

**1. 実務経験のある教員による授業科目 該当**

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法を指導する。

**2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

- ①CAN通信を使用した電装回路の構造、作動を理解する
- ②コンネクションスイッチ読み取り機能の内容を理解する
- ③信号波形と作動状態から故障箇所と故障状態（断線、短絡）の推定が出来る

**3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

- ①CAN通信を使用した電装回路の構造、作動を理解できるようになる
- ②コンネクションスイッチ読み取り機能の内容を理解できるようになる
- ③信号波形と作動状態から故障箇所と故障状態（断線、短絡）の推定が出来るようになる

**4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）**

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する。  
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
  1. 実技試験
  2. 筆記試験
  - ① CAN波形測定
  - ① CAN通信系統筆記問題
  - ② 電装回路故障探求
  - ② BCM、IPDM系電装品筆記試験

**5. 準備学習**

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

**6. 学修時間と単位**

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。  
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

